

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街						
重 点 課 題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実						
施 策 の 基 本 方 針								
厳しい雇用状況が続く中であって、安心して働ける環境づくりを進めるため、5万人の雇用創出に取り組むとともに、就職に有利な資格取得の支援や若者に着目した就業支援の取り組みを推進します。また、日常の暮らしの安心を確保するため、地域の防火防犯に取り組むまちづくり活動を支援するとともに、冬の市民生活ルールの確立や除排雪体制の維持・安定化に取り組めます。								
計 画 事 業 費 の 執 行 状 況								
施策 番号	事 業 名	計 画 事業費	事 業 費 (単位:千円)					進捗率 (%)
			23年度 (決 算)	24年度 (決 算)	25年度 (予 算)	26年度 (予 算)	合 計	
施策1 就労支援と安心して働ける環境づくりの推進								
	就業サポートセンター等事業	108,000	0	34,750	40,300		75,050	69.5
	企業向け若年層雇用安定助成事業	193,000	10,364	21,736	43,400		75,500	39.1
	若年層就業促進事業	16,000	3,750	4,226	4,134		12,110	75.7
	職業観育成事業	20,000	2,980	3,580	5,000		11,560	57.8
	母子家庭自立支援給付金事業	133,000	11,844	17,881	27,798		57,523	43.3
	職業能力開発サポート事業	189,000	47,098	44,432	47,000		138,530	73.3
	地域雇用創造推進事業	—	0	0	0		0	—
	就労ボランティア体験事業	106,000	0	12,926	40,860		53,786	50.7
	公契約条例の制定	—	0	0	0		0	—
施策2 日常の身近な暮らしの安心の確保								
	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業	28,000	5,215	3,354	4,723		13,292	47.5
	消費者被害防止ネットワーク事業	20,000	5,159	5,234	4,886		15,279	76.4
	女性の安心サポート事業	29,000	4,107	8,529	9,679		22,315	76.9
	安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業	37,000	14,032	7,493	18,835		40,360	109.1
	学校給食における衛生管理の充実・向上【再掲】	165,000	5,050	96,355	61,000		162,405	98.4
	地下鉄南北線可動式ホーム柵設置事業	3,982,000	1,356,286	2,765,468	0		4,121,754	103.5
	救急安心都市さっぽろ推進事業	80,000	0	26,141	8,350		34,491	43.1
施策3 除排雪体制の確保と冬の市民生活ルールの確立								
	地域と創る冬みち事業	239,000	53,776	54,212	60,700		168,688	70.6
	冬のみちづくりプラン推進事業	36,000	9,010	9,000	9,000		27,010	75.0
	除排雪体制の維持・安定化	—	0	0	0		0	—
	住民との協働による安心できる冬のくらし対策	4,000	1,928	1,197	600		3,725	93.1
重 点 課 題 合 計		5,385,000	1,530,599	3,116,514	386,265	0	5,033,378	93.5

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重 点 課 題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 就労支援と安心して働ける環境づくりの推進							
就業サポートセンター等事業							
1	職業相談窓口利用者数	122,750人	143,018人	163,839人			170,000人
2	職業相談窓口における就職者数	3,580人	4,349人	5,493人			5,200人
企業向け若年層雇用安定助成事業							
3	助成金利用による正規雇用者数(累計)	—	25人	98人			800人
若年層就業促進事業							
4	参加者数	1,304人	1,601人	1,732人			1,420人
5	就職率(研修のみ)	41.6%	55.5%	54.1%			50%
職業観育成事業							
6	疑似体験プログラムを実施したクラス数	—	10クラス	12クラス			18クラス
母子家庭自立支援給付金事業							
7	資格取得者数(累計)	—	7人	10人			66人
職業能力開発サポート事業							
8	雇用者数	—	128人	201人			192人
地域雇用創造推進事業							
9	事業利用者数	—	3,424人	3,844人			2,450人 (25年度)
10	雇用創出数	—	654人	808人			425人 (25年度)
就労ボランティア体験事業							
11	就労ボランティア体験事業参加者数	8人	36人	124人			400人
公契約条例の制定							
12	公契約条例の制定	—	継続審査	継続審査			制定 (23年度)
施策2 日常の身近な暮らしの安心の確保							
犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業							
13	地域防犯活動の枠組みに参加した事業者数	—	226団体・社	241団体・社			100団体・社
消費者被害防止ネットワーク事業							
14	障がいのある人向けの消費者被害防止ネットワーク事業の実施区数	—	3区	5区			10区 (25年度)
女性の安心サポート事業							
15	札幌市配偶者暴力相談センター相談件数	1,204件	1,249件	1,464件			1,000件
安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業							
16	(仮称)食の安全・安心推進条例の制定	—	—	制定			制定 (24年度)
学校給食における衛生管理の充実・向上【再掲】							
17	汚染区域と非汚染区域を明確に区分している学校	16校	20校	46校			98校
地下鉄南北線可動式ホーム柵設置事業							
18	南北線全駅への可動式ホーム柵設置	—	設置準備	16駅設置完了			16駅 (24年度)
救急安心都市さっぽろ推進事業							
19	救急搬送中における心肺機能停止傷病者	116症例	122症例	124症例			58症例

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街				
重 点 課 題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実				
達 成 目 標 の 状 況						
事業名 達成目標	(現 状 値)	23 年 度 末 (実 績 値)	24 年 度 末 (実 績 値)	25 年 度 末 (実 績 値)	26 年 度 末 (実 績 値)	(目 標 値)
施策3 除排雪体制の確保と冬の市民生活ルールの確立						
地域と創る冬みち事業						
20 事業に参画した町内会数	565町内会 (30%)	838町内会 (45%)	1,269町内会 (68%)			生活道路を有する全町内会
冬のみちづくりプラン推進事業						
21 「冬の暮らしガイド」を読んだことがある市民の割合	49.6%	—	65.0%			60%
22 札幌市雪対策のホームページを見たことがある市民の割合	14.7%	—	13.1%			30%
除排雪体制の維持・安定化						
23 夏冬一体化による通年委託の試行実施	5区	10区	10区			10区 (23年度)
住民との協働による安心できる冬のくらし対策						
24 FAXなどにより情報伝達を行う単位町内会数	—	222町内会	181町内会			310町内会 (24年度)
25 砂入りペットボトル作成参加団体数	—	14団体	18団体			40団体

注: 番号は、重点課題ごとの通し番号

さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
30	札幌市が「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思う人の割合	51.4% (21年度)	44.4% (23年度)	50.5% (24年度)			60% (26年度)
		防犯教室の開催等の取り組みを進めてきたところだが、調査時期と近い時期に、放火や車上狙い等の事件が頻発したことが、数値の低下に影響したと考えられる。					
31	食の安全に関心があり、注意を払っている人の割合	68.5% (21年度)	80.5% (23年度)	83.3% (24年度)			80% (26年度)
		市民参加型事業(さっぽろ食の安全・安心モニター等)の継続展開などが、市民意識の変化に寄与していると考えられる。					
32	地域の雪置き場としての公園などの有効利用、その後の雪割り・清掃などに協力したことがある人の割合	14.5% (21年度)	36.6% (23年度)	34.1% (24年度)			20% (26年度)
		地域に対し、雪対策の現状や取組等周知・啓発を継続的に行ってきたことが、数値の上昇に寄与したものと考えられる。					
33	よくやっていると思う施策(市政に対する評価)のうち除雪に関すること	21.3% (22年度)	16.2% (23年度)	20.5% (24年度)			40% (26年度)
		引き続き、市民に対して、除雪の状況等を速やかに伝えられるよう、情報発信を充実していく必要がある。					
社会成果指標							
34	雇用創出数(累計)	— (22年度)	13,976人 (23年度)	30,045人 (24年度)			50,000人 (26年度)
		目標に向けて順調に推移しており、今後も引き続き、計画事業等を着実に実施していくことにより、目標値の達成を目指していく。					
35	地域防犯活動に参加している人の割合	20.4% (22年度)	21.7% (23年度)	22.8% (24年度)			25% (26年度)
		地域において、住民や民間企業等による情報共有や連携が図られてきており、市民が地域防犯活動に触れる機会が増えてきたことで、数値上昇をもたらしたと考えられる。					
36	除雪方法等を周知し理解と協力を促すために情報共有を進めた町内会の割合	30% (22年度)	45.4% (23年度)	67.6% (24年度)			100% (26年度)
		雪対策について市民懇談会を実施する等の取組(地域と創る冬みち事業)などにより、除雪方法等について情報共有を進めた町内会数が順調に増加していると考えられる。					

注: 番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重 点 課 題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実
事 業 実 績 、 評 価 と 反 省 、 今 後 の 取 り 組 み 等		
施策1	就労支援と安心して働ける環境づくりの推進	
24年度の主な取組内容(実績)		
ハローワークとの連携により、南区職業相談コーナーをあいワーク(求職者支援センター)に移行。		若年層を雇用する事業者への助成金支給(98人分)。
職業観を育成するために、社会構造の理解促進を促進する疑似体験プログラムをモデル校3校で実施。		「Skipさっぽろ」での資格取得を通じた就労支援等を実施し、201名が就職。
長期未就労の生活保護受給者に対する就業体験的ボランティアを3区で実施し、124人が参加。		
25年度の主な取組内容(予定)		
ハローワークとの連携により、中央区・東区の職業相談コーナーをあいワーク(求職者支援センター)に移行し、市内全区で職業紹介が可能な体制を構築。		若年層を雇用する事業者への助成金支給(200人分)。
職業観を育成するために、社会構造の理解促進を促進する疑似体験プログラムを新規モデル校1校を加えた4校で実施。		「Skipさっぽろ」での資格取得を通じた就労支援等を継続実施。
長期未就労の生活保護受給者に対する就業体験的ボランティアの実施規模の拡大(H24:3区124人→H25:7区280人)。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【企業向け若年層雇用安定助成事業】24年度は98人の雇用創出につながった。また、本制度の申請には至らなかった事業主に対しヒアリングを行った結果をもとに、申請事務の簡素化等についても今後検討していく。 【職業能力開発サポート事業】24年度の就職者は201人で、そのうち91%が正社員又は社会保険・労働保険の加入を伴うフルタイムで就職していることから、市民が安心して働ける環境づくりに貢献している。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【若年層就業促進事業】求職者に対し幅広く周知を行い、受講者の確保に力を入れるとともに合同企業説明会の参加企業数も増やし、若年層の就職の機会を広げることで、「雇用創出数」の向上を目指していく。 【職業観育成事業】新規実施校を開拓し、多くの高校生が勤労観や職業観を涵養できるような環境づくりを進めることで、新卒後の安定的な就業につなげていきたい。		
施策2	日常の身近な暮らしの安心の確保	
24年度の主な取組内容(実績)		
地域防犯活動に参加する事業者「地域安全サポーターズ」の積極的なPRや活動支援を実施。		障がいのある方向けの消費者被害防止ネットワーク事業を5区で実施。
食の安全・安心を推進するための条例を策定。		地下鉄南北線の全駅に可動式ホーム柵を設置。
25年度の主な取組内容(予定)		
地域防犯活動に参加する事業者「地域安全サポーターズ」の積極的なPRや活動支援を継続して実施。		障がいのある方向けの消費者被害防止ネットワーク事業を全区で実施。
24年度に策定した安全・安心な食のまち推進条例に基づき、市民・事業者との連携・協働型事業を継続して実施。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業】地域において、住民や企業等による情報共有や連携を図る動きが着実に進み、地域で防犯活動に参加する機会も増えていると考えられる。 【地下鉄南北線可動式ホーム柵設置事業】全駅にホーム柵を設置したことで、ホームへの転落や電車との接触事故を防止することができ、安全安心なまちづくりに貢献している。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【消費者被害防止ネットワーク事業】消費者被害防止ネットワーク事業の全区での実施にあたり、関係機関等と連携・情報共有しながら取組を進めていく。 【安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業】安全・安心な食のまち推進条例の理念や施策の周知を進め、市民・事業者と連携・協働した取組を強化することで、市民の食の安全・安心に対する関心の向上を目指す。		

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街	
重 点 課 題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実	
事 業 実 績 、 評 価 と 反 省 、 今 後 の 取 り 組 み 等			
施策3	除排雪体制の確保と冬の市民生活ルールの確立		
24年度の主な取組内容(実績)			
地域の実情に応じた除雪等について話し合う市民懇談会を開催したほか、雪対策に係る情報発信のため出前講座等を実施。		広報誌の作成等により、雪対策の現状や取り組みの周知・啓発を実施。	
除排雪従業者の通年雇用促進のため、夏冬通年委託を10区で実施。			
25年度の主な取組内容(予定)			
地域の実情に応じた除雪等について話し合う市民懇談会や雪対策に係る情報発信のため出前講座等を継続して実施。		広報誌の作成等により、雪対策の現状や取り組みの周知・啓発を継続して実施。	
除排雪従業者の通年雇用促進のため、夏冬通年委託を10区で継続して実施。			
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省			
【地域と創る冬みち事業】市民参加による懇談会を開催するとともに、地域の課題解決に向けて、雪置き場としての公園の有効活用や砂まき活動等を地域と協働で進めたことが、地域における除雪方法等の情報共有につながっている。			
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み			
【冬のみちづくりプラン推進事業】比較的雪の多い地域を中心とした地域と創る冬みち事業などの地域説明会を開催するとともに、除排雪の状況や今後の見通しを速やかに伝えるなど情報発信を充実していく。 【除排雪体制の維持・安定化】夏冬通年委託の実施結果を検証し、複数年契約の検討など除雪体制のさらなる安定に向けた取組を進めていく。			
協 働 の 状 況			
【就業サポートセンター等事業】就業サポートセンターに求人を提出している企業を中心に、合同企業説明会参加の案内を行い、採用活動の支援を実施。			
【犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業】地域安全サポーターズ登録事業者と連携して、市民向けの防犯講話を実施。			
【安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業】市民と事業者との交流を図り相互理解を促進するために、市民交流事業や子ども食品Gメン体験事業等を実施。			
【冬のみちづくりプラン推進事業】雪対策室の広報戦略である「札幌ゆきだるまプロジェクト」を広く周知するため、企業の協力を得てポスターやステッカーの掲示などを実施。			